

令和3年度西脇市認定こども園保護者アンケート集計結果について

令和3年度西脇市内にある幼保連携型認定こども園において実施した保護者アンケートの集計結果を公表します。

実施月：令和3年12月～令和4年1月

対象施設：市内にある幼保連携型認定こども園8園

対象保護者：上記認定こども園に通う0歳児～5歳児の保護者

保護者アンケート配布数：1,075枚

〃 回答数：836枚

〃 回収率：77.8%

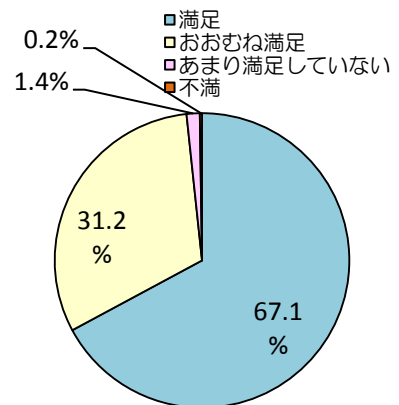
各園の個別集計結果及び自由記述については、各園の教育・保育の質の向上及び保育者の資質向上に係る課題と捉え、今後の改善及び見直しにつなげていきます。

ここでは、市全体の集計結果を公表し、西脇市就学前教育・保育に対する評価とします。

問1. 保護者から見て、現在の教育・保育内容（遊び・生活等）について

	満足	おおむね満足	あまり満足していない	不満
回答数	558	259	12	2
割合	67.1%	31.2%	1.4%	0.2%

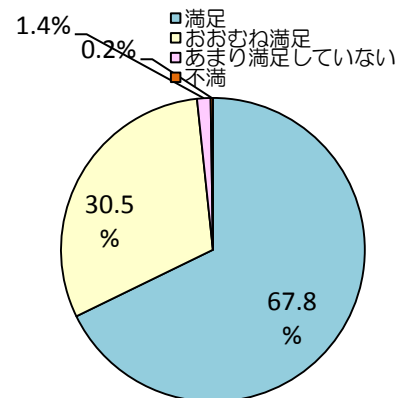
※回答なし5名



問2. お子さんの様子から、現在の園生活について

	満足	おおむね満足	あまり満足していない	不満
回答数	566	255	12	2
割合	67.8%	30.5%	1.4%	0.2%

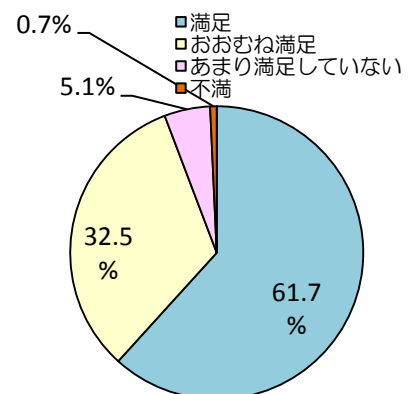
※回答なし1名



問3. 行事（誕生会、まつり、運動会、発表会等）について

	満足	おおむね満足	あまり満足していない	不満
回答数	513	270	42	6
割合	61.7%	32.5%	5.1%	0.7%

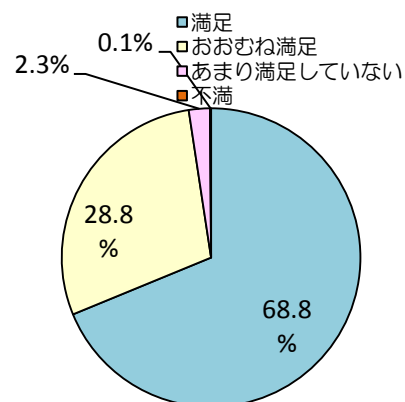
※回答なし5名



問4. お子さんへの接し方について

	満足	おおむね満足	あまり満足していない	不満
回答数	573	240	19	1
割合	68.8%	28.8%	2.3%	0.1%

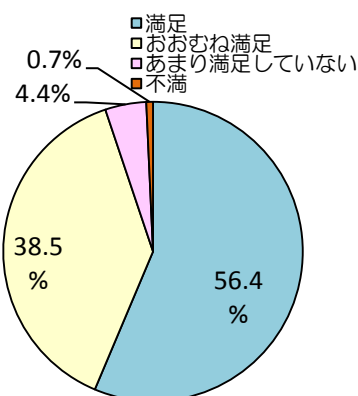
※回答なし3名



問5. 家庭との連携について

	満足	おおむね満足	あまり満足していない	不満
回答数	470	321	37	6
割合	56.4%	38.5%	4.4%	0.7%

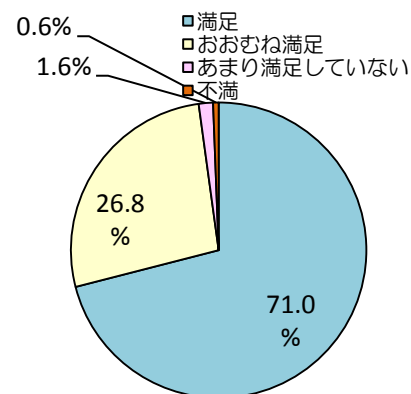
※回答なし2名



問6. 給食について (お子さんのご意見、献立等 から)

	満足	おおむね満足	あまり満足していない	不満
回答数	590	223	13	5
割合	71.0%	26.8%	1.6%	0.6%

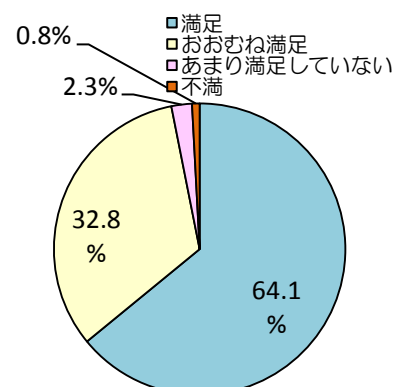
※回答なし5名



問7. 施設の安全管理や感染症等への対応について

	満足	おおむね満足	あまり満足していない	不満
回答数	535	274	19	7
割合	64.1%	32.8%	2.3%	0.8%

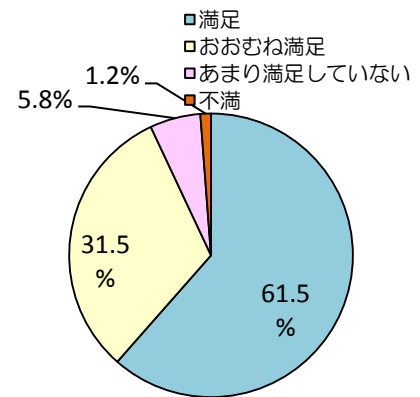
※回答なし1名



問8. 園からの情報発信（よい子ネット、園だより、写真等）について

	満足	おおむね満足	あまり満足していない	不満
回答数	511	262	48	10
割合	61.5%	31.5%	5.8%	1.2%

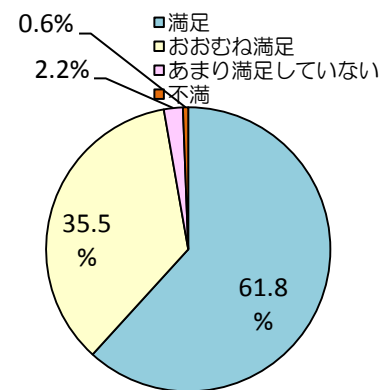
※回答なし5名



問9. 総合的に見て、今の園の取り組みについて

	満足	おおむね満足	あまり満足していない	不満
回答数	515	296	18	5
割合	61.8%	35.5%	2.2%	0.6%

※回答なし2名



アンケート結果から

どの項目も『満足、おおむね満足』が9割近くあり、保護者からよい評価を受けています。

【問3】行事（誕生会、まつり、運動会、発表等）について

新型コロナウイルス感染症の影響による行事の中止や内容変更、また、感染対策による参観制限が影響していると考えられます。

【問5】家族との連携 【問8】園からの情報発信（よい子ネット、園だより、写真等）について

保護者の方々への情報発信、情報共有、連携については、各園ともに工夫をしながら取り組んでいますが、他の項目に比べ評価が低くなっています。情報の共有は、保護者の安心につながります。より伝える（伝わる）ために、情報を伝える方法、頻度、内容（写真やコメント）をさらに工夫するとともに、伝えるスキルの向上も必要であると考えます。

西脇市就学前教育・保育の質の向上推進委員会のご意見から

- ① どの項目も『満足、おおむね満足』が9割近くあり、保護者からよい評価を受けている。今後は、その推移と回収率も視野に入れて、維持・できれば上昇というのも、西脇市の教育・保育の質とともに、指標にしたいと考えている。
- ② 情報をいかに分かりやすく伝えるかという部分が難しい。情報発信、掲示（ドキュメンテーション）を頑張っている園は、ただ写真を貼っての報告だけではなく、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」をつけたり、子どもたちが主体的に取り組んでいる様子を入れたり、工夫をされている。先生方は大変だが、「〇〇をしました」ということだけでなく、保育内容の意図が伝わるように適切な写真とその説明が一致するように伝えていく必要がある。その地道な取組が、保護者に向けて、園は養護を基盤として預かっているだけではなく、国が示している教育の視点をもちながら保育しているという、理解のスタートにつながるのではないかと考える。
- ③ 自由記述のいくつかの記述にある、いわゆる早期教育やお勉強系の要望について。文部科学省『幼稚園教育要領』等では「幼児期の教育」として、早期教育は基本的には推奨されているものではない。むしろ幼児期の教育のあり方は、子どもの主体性が発揮される保育や、好奇心・探究心を発揮しながら他者とかわりあって遊びを進めていくような非認知能力（社会情動的スキル）が重要とされている。このため、一斉指導のような形ではなく、子ども一人一人の興味関心に沿った形で文字や数、自然やものの仕組み等に目を向けていくべきものである。変化が激しい時代を生きる子どもたちの未来を見据えて、これからの時代に必要なこととして示されているものであるが、このことを各園だけでなく、市としても発信していけたらと考える。

保護者の皆様には、お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

また、貴重なご意見ありがとうございました。

ご意見につきましては、認定こども園と共有し、今後の就学前教育・保育に生かしてまいります。

保護者アンケートについては、各項目を評価指標として西脇市就学前教育・保育に対する保護者評価として実施していきますので、引き続きご協力をお願いします。

令和4年6月

西脇市教育委員会教育創造部 幼保連携課